

発行 社会福祉法人名古屋市天白区社会福祉協議会
 編集 ぽわわプロジェクト
 〒463-0015 名古屋市天白区東一丁目301
 基ターミナルビル4階
 TEL:052-808-8550 FAX:052-808-8581
 E-mail:tanpaku@nagoya-shiyokyo.or.jp
 http://www.tanpaku-shiyokyo.com

印刷 株式会社セントラル・プレス
 〒460-0009 名古屋市南区島1-3-2 中央ビル2116号
 TEL:052-820-1701 FAX:052-820-1799
 E-mail:nagoya@press.co.jp http://www.press.co.jp

「ぽわわ」へのご意見、ご要望は
 はがき・FAX・メールにて受け付けています。

本誌にてお寄せいただいたお便りの中から、個人のお名前、住所などを削ぎ、掲載させていただきます。掲載をご希望の方は、お便りにお名前と住所をお知らせください。



ぽわわ 9号

ぽわわとは?
 ぽわ 天白を元気にするおひつり
 わわ 知恵をつなげる(わ)と
 わわ 知恵をつなげる(わ)と
 そんな思いがひとつになって
 ぽわわと名づけました!

衣替えの季節ですね。
 今号のテーマは「衣」。
 天白の生活と衣料に
 まつわる情報をお届けします。

天白を元気にする
 社会情報誌

障害者・高齢者の

お洒落

をお手伝い

洋服教室ファッション やまね
 山根よね子先生



結婚式のドレスが
 娘さんのドレスに
 リフォーム!

車椅子に乗ったお母さんやウェディングドレスなど、
 障がいのある方や高齢の方でも簡単に着られる着づくり
 を実践されている山根先生に話をうかがいました。

色とりどりの糸、プランターに植えられた季節の花々。
 こうした環境の中で作られる山根先生の洋服は、着る
 人の気持ちを明るくします。取材当日に先生が縫いで
 いたのは、ふたつの着物から作られたモダンなワンピース。
 このような既製服のリフォーム技術を生かし、障
 害者や高齢者向けの服作りに取り組んでいます。



福祉ファッションショーで着るんいっせー!

福祉ファッ
 ションショ
 ーに、い
 せいと着
 る高齢者
 たち

ボタンの代わ
 りにマジック
 テープで止める
 服や、上下で分

かれる着物。車椅子に座ったまま着用できる着るスカート…。山根先生の作る服には、随所に着やすい工夫が
 凝らされています。これまで3回開催された「福祉ファッ
 ションショー」では、先生の指導のもと、地域の「生き
 がい」協賛事業(名古屋市西区)などに参加してい
 る高齢者たちが着づくりに参加し、モデルとしても出演
 し、自作の服をステージで披露しました。

モットーは「暮らしを楽にする」

連3日の講座の他に、栄中日文化センターでも教え
 ていらっしゃる山根先生、その精力的な活動の源は?
 とお聞きすると「楽しいからよ!」と、明快なお答えが
 返ってきました。

車椅子の女性からウェディングドレスの製作を依頼
 されたときは、驚りながらも車椅子の持ち手を直す
 工夫をするなど、常に当事者の求めるものを汲み取る
 先生、そんな誠実な姿勢が何冊の共感を呼び、それが
 また先生の創作意欲を刺激しているようです。

~~~~~お読みせ~~~~~

今回ご紹介した高齢者用・障害者用にリフォームさ  
 れた服を、見学をすることができます。ご興味をもた  
 れた方はお気軽に山根先生までお問い合わせください。

**洋服教室ファッション やまね**  
 〒467-0828 名古屋市東区白鳥町3-66-4  
 Tel/Fax:052-841-5093  
 ※こちらで天白区事務局におつた教習が受講へ参加します。

~~~~~ここはどこ?~~~~~

ここは東区白鳥町に建設された天白区内の
 ある場所です。さあ、どこか分かるかな?
 答えはO.Sです。【写真:大塚あゆみ】



推理小説を聴きながら 編み物をしている時間が幸せ!

シズメユエ
視覚障害者 清水 清江さん(82歳)



笑顔のぬえない明るい清水さん

涼しげなニットを着て出迎えてくださった清水さん。「これもお手製のよ」と、にっこり微笑む笑顔が印象的です。

さっそく、編み物をする様子を見せてくださいました。11年前から編み物を買いはじめたとあって、編み物好きはとて目目が不自由とは思えないほどの軽やかさです。

コミュニティセンターで盲導先生から教わるだけでなく、教材テープを自ら点訳して勉強をするなど、努力はひと一倍。大好きな推理

小説の音訳テープを聴きながら編み物をしていると、時間もあっという間に過ぎてしまいます。

「模様は、編み目の数を数えながら作れます。でも、2色以上の毛糸を使うときは色の違いが分からず、間違っただけで編んでしまったこともありますね」と、かつての失敗談も明るく笑い飛ばす元気が、健康の秘けつなのかもしれません。



やわらかな手製のカーブイス

積極的に外出もし、地下鉄にも一人で乗られています。「困ったことがあると、そのたびに手助けしてくれる方がいらっしゃる」と、うれしそうにお話してくださいました。

和みスポット 天白の緑はここから! やっぱり相生山緑地は緑の場。



トンネルの入り口「トンネル」

市の東部丘陵に築る樹林地を活かして整備された、緑豊かな相生山緑地。「森の小径」などを抜けば、とても気持ち良く自然とふれあえます。森は相生山緑地オアシスの森くらぶ(代表:大船学さんTEL:891-8393)などの市民により自主的に手入れがなされています。また相生山緑地自然観察会(代表:近藤肥日子さんTEL:822-7480)では、植物や昆虫の観察を通じて、自然の大切さを学ぶ機会としています。どちらも参加自由なので、興味のある方は是非ともお問い合わせを。



手仕事の喜びを
伝えたい
タンテ・ボレ
Tante Wolle

「自然素材に
触れ、手を動かすことが心の豊かさにつながります」と、タンテ・ボレ店長の吉田ひとみさん。店



内には色とりどりの毛糸や木・紙のおもちゃなどが並びます。手紡ぎ糸作りから始まったお店は、場所を変えながら10年以上も自然派志向の方々の心をつかんで睡しません。なめても安全なみろろ織のクレヨン、優しい風合いの草木染めの糸、羊毛や綿など自然素材で作られるワールドフ人形…。様々な楽しい日常を忘れ、ここでやわらかな時間を楽しんでみませんか?

営業時間 午前10時～午後6時
定休日 月曜日、第1・3日曜日(11・12月の日曜日は営業)
問合せ先 TEL:836-0190 FAX:836-0191
E-mail: info@tante-wolle.com
URL: http://www.tante-wolle.com
天白区八草石原619 グリーンハイム石原3-A

この場とまれ! ボ・ラン・ティ・ア・情・報

【天白子育て情報局PAKUっ子(探検・探検ボランティア募集)】

「天白の子育てに欠かせない」と親子の思いを受けている情報局です。天白区社会福祉協議会と天白子ネットが共同で行っています。

期日 時:毎月28日(土日の場合は翌月曜)午前中印刷・午後配達
期日 時:毎月28日(土日の場合は翌月曜)午前中印刷・午後配達
期日 時:毎月28日(土日の場合は翌月曜)午前中印刷・午後配達
期日 時:毎月28日(土日の場合は翌月曜)午前中印刷・午後配達
TEL:806-8580 FAX:806-8581
「PAKUっ子」については子育て情報局の天白子ネットホームページをご覧ください。
<http://maminoarea.net/tanpakukozanet>

【トレーニングジムへの村を巡るボランティア募集】

復興ボランティアの方(30代前後)がスポーツセンターでトレーニングを行う際の見守りおよび機材の整理(おむつの交換など)を行っていただくボランティアを大募集しています。

期日 時:どなたでも(年齢性別不問)
期日 時:週に2～3回、12時頃から2～3時間
期日 時:天白スポーツセンター(天白区榎39-1502)
期日 時:天白区社会福祉協議会 8階/道本(つづき)
TEL:806-8580 FAX:806-8581

【かんばす子育て情報局ボランティア募集】

かんばすが主催するエンジョイ倶楽部「雨とふれあおう」では、障害児を中心とした子どもたちが楽しみをもちながらの付き添いボランティアを募集しています。

期日 時:8・10・11・12月の第2土曜日
午前10時～午後3時
期日 時:毎日井内内の集まり場
期日 時:かんばす 8階/道本(はた)
TEL:800-3828

※募集要項詳細はお問い合わせください。
※かんばすでは上記以外にも様々な活動を行っています。
※希望、参加者・ボランティアを募集しています。

【NPO法人かんばす】

高齢者、障害者、そしてその家族・居場所が住み慣れた地域で安心して自分らしく普通に暮らしたいとの願いを実現するために、さまざまな支援を創りだしながら活動しています。障害の有無に関係なく参加できる「集・楽・居・居」子育てサロン「どろんこわらばあー」などがあります。

問合せ先:
特定非営利活動法人かんばす
天白区山原町9番地2階
TEL:800-3828
FAX:800-3829
Email:kambas@peimin.jp
URL:www.k2doron.jp/~www



子育ての楽しさを味わうかんばす

Q. 最近、体力の衰えを感じたり、物忘れがひどくなったように思います。これから先の生活が不安です。

A. まずは生活機能をチェックしましょう。ケースに応じてケアプランをご提案します。

介護のヒント



ここから自分の生活機能をチェック

介護保険制度の改正に伴い、地域包括支援センターが創設されました。センターには保健師・ケアマネジャー・社会福祉士が配置され、各分野の専門機関・ボランティアなどと連携して、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活できるような支援体制を提供します。

「基本チェックリスト」によって生活機能の相違を調査し、身体状況の悪化を防止するために介護予防サービスの提供を受ける必要があるとされた方に対しては、希望に即した生活を可能にするための方法を、本人とサービス提供者が共に考え取り組んでいくことになります。天白区には2ヶ所の地域包括支援センターがありますので、ご自分またはご家族で相談を希望される方はお気軽にご相談ください。

●名古屋天白区地域包括支援センター
天白区尾1-301 尾ターミナルビル3階(社内) TEL.839-6565

●名古屋天白区地域包括支援センター
天白区大井2-801(八事池内) TEL.839-3863



- 丹波川直(保健師/主)「在宅にお預かりしてほしい」
- 岡田佳子(社会福祉士/主から本人)「お預かりをお願いします」
- 川上真智子(看護師/おかけは人員)「お一人でお預かり、何でもお預かりください」
- 中村徹(主任介護支援専門員/主)「一歩にでも進んでほしい」



- 中井洋子(看護師/介護支援専門員/主)「お預かりの地域で安心して暮らせるお預かりしたいです」
- 藤原水直(社会福祉士/主)「お預かりの地域で安心して暮らせるお預かりしたいです」
- 中井洋子(主任介護支援専門員/看護士/主)「お預かりの地域で安心して暮らせるお預かりしたいです」

ここはどこ? 本元【佛地院と音聞山保育園】



正解は「佛地院と音聞山保育園」です。佛地院の庫裡を改造して昭和28年に保育園ができました。現在の園舎は用水池を埋め立てた約1000坪の土地に建てられました。




地下鉄八事駅から徒歩15分、園舎は色とりどりです。

音聞山保育園
住所:天白区 音聞山1-119
TEL:832-0485

これがおすすめ! 「身体から革命を起す」

甲野善紀・田中雄
2008年/2009年/1400P



右手右足を同時に出して歩く「ナンバ歩き」などを通して、身体運用の可能性を追求する武術家の甲野善紀さん。その技術を介護に応用した「介護流術」は、介護する側にも、される側にも負担のかからない画期的な介護術と、NHKで紹介されるなど注目を集めています。写真付きでわかりやすい内容は、一筋の価値あります。



だれもが安心して暮らせる天白区に

方々は大きく変わりつつあります。そこで、今年の「ふれ愛ネット天白」では、今までの活動を振り返りながら、この天白という地域で、どんな福祉ネットワークが必要とされているかなど、より良い「ふれ愛ネット天白」の活動を考える機会を作ろうと思います。楽しく夢を語り合いながら住み良いまちづくりの実現を目指して、みんなで力を合わせていきませんか?興味のある方は、

福祉施設や福祉団体が手を取り合って「誰もが安心して暮らせる天白区」づくりに取り組んできた「ふれ愛ネット天白」。今年で9目を迎えました。この間、地域福祉やボランティアの在り

福祉区民のついでに活動

「ふれ愛ネット天白」事務局(社協内)TEL:808-6560)までご連絡ください。

はわわの 子育て日記

9 子どものお洋服事情



リサイクルショップやフリーマーケット、そしておさがりで洋服を手に入れ、とても貴重していたのですが、子どものサイズが100を超えるころから、その機会も少なくなりました。3才くらいからは身長があまり伸びないので、長く着回していきます。動きも激しくなるので、服も靴もヨレヨレのボロボロになり、リサイクルやお古にもまわせなくなりま。それに子どもの好みとくにキャラクターものにハマると、着替えまで毎日着せがります。またお洋服を扱うにしても、地

は「女の子はスカート、男の子はズボン。ワンピースはお姫さま」「Gパンはかたくてきれい」「青は男の子、ピンクは女の子。だからピンク」というポリシーです。私が何何色を着たっていいんだよ」と言っても、うんと言ってくれません。でも私も小さいころは「男の子色、女の子色」と分けていて、親から「そんな色はない!」と怒られていたんです。不思議と似てしまった親子の感覚。同レベルな誰ミソで笑っちゃいました。(あとりん)

1 糸がつなぐふれあい

ヘルパーの私のズボンを抱きしめて、「これは、初めからついていてたのかね」とある方がおっしゃいました。藍のアップリケが以前から気になっていたようです。「腰をついたりする仕事が多いので薄くなってしまったから、かわいい生地でアップリケしてみたのですよ。」とお話したところ、「なかなか上手に出来ているわ、私も一つ縫ってくんがね。」と直しものを頼まれました。高倉君はヘル

パーのことをしっかり見ていらしゃいます。そして、思わぬところで会話もはずみます。手渡されたアップリケ布は、昔使っていた思い出深いはぎれだとのこと。お直しをすると、とても喜んでくれました。その日の活動が終わって、パッチワークをした籠の中からはボールペンを取り出した際、その方の目がまた輝き、「あなたにまたいろいろ頼むからね」とおっしゃってくださいました。「今度は一緒にやってみようね」と声をかけつつ、信頼関係が芽生えたと感じました。(きびちゃん)



たくさんのお店ありがとうございました!
今回、そのお礼として5000円を頂戴いたしました。

なきあとの
においなかし
あずさ (020228A)

笑顔と
ぬいごわんない
パンジャマ着て
ピタパタ(208A)

着ぶくわて
腕が笑い
あわあう
あし(208A)

9/2008
[秋服]

天白の
井戸端

古いぬい
びんごのぬい
作り(208A)

新柄の
お針子の
おの(208A)

あわてて着た
うしろま(208A)

2008年
[秋]

020228A
020228A
020228A
020228A

「はわわ」づくりにご協力くださいませんか? 賛助会員募集!!

賛助会員とは、天白区社会福祉協議会が行う「福祉のまちづくり」の事業の創設・目的等に賛同いただき、所定の賛助会費(年会費)をご提供いただける方のことです。今年度も広く区民の皆様にご協力をお願いいたします。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

■個人 1口/1,000円(年間) ■法人・団体 1口/5,000円(年間)

社会福祉法人 名古屋市天白区社会福祉協議会
〒468-0015 名古屋市天白区東一丁目301番地 原ターミナルビル3階
TEL:809-6560 FAX:809-6561 E-mail:tanpakuVC@nagoya-shakyo.or.jp
ホームページhttp://www.tanpaku-shakyo.com

善意の輪

次の方々より天白区社会福祉協議会に寄付をいただきました。多くのお礼申し上げます。天白区の地域福祉を推進し、発展させていきます。
(9月1日～2月1日)から(4月30日)まで受付 受付期間

- 海老力 様
- 大寺 様
- 名古屋市天白区 様
- 名古屋市天白区 様
- 名古屋市天白区 様

「ここはどこ?」を見た読者の方から、家族の中で読者になり会話が楽しめると喜びの声をいただきました。運営委員会でもこのコーナーの読者になると一番盛り上がります。はわわも今年で3年目を迎え、ますますパワフルに頑張ります。(300)

編集後記